HITACHI

日立パーソナルコンピュータ

FLORA シリーズ

増設 DVD-ROM & CD-R/RW ドライブ 取扱説明書

形式:PC-FV8200

このたびは、増設 DVD-ROM & CD-R/RW ドライブ(以下、本装置)をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

●取扱説明書、セットアップガイドをよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。

重要なお知らせ

● 本書の内容の一部または全部を、無断で転載あるいは引用することを禁止します。
● 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
● 本書の記述内容について万一ご不審な点や誤りなど、お気付きのことがありましたら、お買い求め先へご一報くださいますようお願いいたします。
● 本製品を運用した結果については前項にかかわらず責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

製品の信頼性について

ご購入いただきました製品は、一般事務用を意図して設計・製作されています。生命、財産に著しく影響のある高信頼性を要求される用途への使用は避けてください。このような使用に対する万一の事故に対し、弊社は一切責任を負いません。
高信頼性を必要とする場合には、別システムが必要です。弊社営業部門にご相談ください。
一般事務用製品が不適当な、高信頼性を必要とする用途例
・化学プラント制御、医療機器制御、緊急連絡制御など

規制への適合について

●電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI) の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

●輸出規制について

本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規制等外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、お問い合わせ先にお問い合わせください。

マニュアルの表記

■ マークについて

マニュアルの中で使用している、マークの意味を説明します。

お願い　重要事項や使用上の制限事項を示します。

ヒント　本装置を活用するためのヒントやアドバイスです。

参照　参照先を示します。

- Microsoft と Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- B's Recorder は株式会社ビー・エイチ・エーの商標です。
- Power DVD は Cyber Link 社の商標です。
- SmoothLink は松下電器産業株式会社の登録商標です。
- Photo CD は Eastman Kodak Company の登録商標です。
- +R、+R DL、+RWは+RWのアライアンスで策定された名称です。
- その他、各社名および各商品名は各社の商標または登録商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

本装置の特長

■ USB バスパワー対応

■ 専用 USB ケーブルを付属

■ 書き込み 最大 10 倍速、読み込み 最大 20 倍速対応

■ USB2.0 インタフェース対応*1

■ DVD-RAM/R/RW 、+R/R DL/RW、CD-R/RW8種類の読み込み、CD-R/RWの書き込みに対応*2

■ 書き込みソフト・ DVD ビデオ再生ソフトを付属*3

*1 USB ハブ経由での接続は、動作保証していません。
安定した動作でご使用いただくためには、USB2.0 接続でご使用ください。

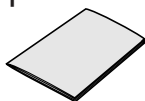
*2 DVD-RAM はカートリッジから取り出し可能なメディアまたはカートリッジがないメディアで UDF フォーマットのものに限ります。

*3 USB 1.1 で使用される場合、書き込みおよび読み込み速度は最大 6 倍速相当となります。
また、DVD ビデオの再生は映像や音声が途切れることがあります。

Windows 2000 の正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system です。(以下 Windows 2000)
Windows XP の正式名称は、Microsoft® Windows® XP Professional operating system です。(以下 Windows XP)

付属品のご確認

ご使用いただく前に、次のものがそろっているか確認してください。

□セットアップガイド[*1]

□専用 USB ケーブル

□CD-ROM（2枚または3枚）

・B's Recorder GOLD 8 BASIC for HITACHI
・Power DVD 5
・ユーティリティーディスク[*1]

[*1] 単品オプションとして購入した時のみ添付されます。

- イラストは現物と一部異なる場合があります。
- 付属品の内容は予告なく変更される場合があります。

お問い合わせ先

● 本装置の操作や使いこなしについてのお問い合わせ

HITAC カスタマ・アンサ・センタにお問い合わせください。
技術的なお問い合わせについて回答いたします。

■HITAC カスタマ・アンサ・センタ
（＊電話での対応は国内に限らせていただきます。）
TEL　　：0120-2580-91（フリーダイヤル）
受付時間：月曜日～金曜日 9:00～12:00、13:00～17:00（土、日、祝日を除く）

● 故障や保守サービスについてのお問い合わせ

トラブルが発生した場合は、まず本書の「故障かな？と思ったら」でご確認ください。故障と判断される場合は、日立コールセンタまたはご購入先にお問い合わせください。
その時に保守サービスのご案内をいたします。

■日立コールセンタ
（＊電話での対応は国内に限らせていただきます。）
TEL　　：0120-8824-40（フリーダイヤル）
受付時間：9:30～19:00（平日）
＊土、日、祝日、年末年始は休ませていただきます。

● 本装置の廃棄についてのお問い合わせ

弊社では、事業者（法人所有）、およびご家族（個人所有）の使用済み本装置の回収リサイクルサービスを行っています。詳細については、日立リサイクルホットラインにお問い合わせください。

■日立リサイクルホットライン
TEL　　：0120-12-5006（フリーダイヤル、携帯電話、PHS からも可）
受付時間：月曜日～金曜日　9:30～17:00
（土、日、祝日、および弊社休業日を除く）
メールアドレス：e-kankyo@ml.itg.hitachi.co.jp
ホームページアドレス：http://www.hitachi.co.jp/pc-recycle
＊本サービスは国内に限らせていただきます。

もくじ

安全にお使いいただくために

■ 安全に関する共通的な注意について

次に述べられている安全上の説明をよく読み、十分理解してください。
・操作は、このマニュアル内の指示、手順に従って行ってください。
・装置やマニュアルに表示されている注意事項は必ず守ってください。
これを怠ると、けが、火災や装置の破損を引き起こすおそれがあります。

■ シンボルについて

安全に関する注意事項は、次に示す見出しによって表示されます。これは安全注意シンボルと「注意」という見出し語を組み合わせたものです。

これは、安全注意シンボルです。人への危害を引き起こす潜在的な危険に注意を喚起するために用います。起こりうる傷害または死を回避するためにこのシンボルのあとに続く安全に関するメッセージに従ってください。

⚠注意

これは、軽度の傷害、あるいは中程度の傷害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。

注意

これは、装置の重大な損傷、または周囲の財物の損害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。

【表記例１】分解禁止
⃠の図記号は行ってはいけないことを示し、⃠の中に「分解禁止」などの禁止事項の絵が描かれています。

■ 操作や動作は

マニュアルに記載されている以外の操作や動作は行わないでください。装置について何か問題がある場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、お買い求め先にご連絡ください。

■ 自分自身でもご注意を

装置やマニュアルに表示されている注意事項は、十分検討されたものです。それでも、予測を越えた事態が起こることが考えられます。操作に当たっては、指示に従うだけでなく、常に自分自身でも注意するようにしてください。

⚠注意

修理・改造・分解
修理や改造・分解をしないでください。故障の原因になります。特に裏ぶたやカバーを外したりしないでください。
本装置は、クラス1レーザ製品です。
レーザ光線による視力障害の原因になることがあります。

不安定な場所などでの使用
傾いたところや狭い場所など不安定な場所には置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。

目的以外の使用
本装置本来の目的以外に使用しないでください。壊れたり、倒れたりし、けがや故障の原因になります。

装置内部への異物の混入
内部にクリップや虫ピンなどの金属類や燃えやすい物などを入れないでください。そのまま使用すると、故障の原因になります。

装置上に物を置く
花びん、植木鉢など水の入った容器や虫ピン、クリップなどの小さな金属物を置かないでください。内部に入った場合、そのまま使用すると、故障の原因になります。

落下などによる衝撃
落下させたり、ぶつけるなど過大な衝撃を与えないでください。内部に変形や劣化が生じ、そのまま使用すると、故障の原因になります。

日本国以外の使用
本装置は日本国内専用です。また他国には独自の安全規格が定められており本装置は適合していません。

湿気やほこりの多い場所での使用
浴槽、洗面台、台所の流し台、洗濯機、加湿器のそばなど、水を使用する場所の近傍、湿気の多い地下室、水泳プールの近傍やほこりの多い場所で使用しないでください。
故障の原因になります。

温度差のある場所への移動
移動する場所間で温度差が大きい場合は、表面や内部に結露することがあります。結露した状態で使用すると、故障の原因となります。使用する場所で、数時間そのまま放置してからご使用ください。

異常な熱さ、煙、異常音、異臭
万一異常が発生した場合は、パソコンの電源を切り、本装置をパソコンから取り外してください。そのまま使用すると、やけどや発煙の原因になります。
また、すぐに取り外せるように、USB ポートの周りには物を置かないでください。

⚠注意

USB コネクターの抜き差し
本装置をパソコンに接続するときは必ず USB コネクターを持って、根元までしっかり差し込んでください。また、ほこりが付着していないことを確認してから差し込んでください。
本装置をパソコンから取り外すときは、必ず USB コネクターを持って行ってください。
ケーブルを引っ張ると一部が断線し、発煙の原因になります。

ケーブルについて
ケーブルは足などに引っかけないように、配線してください。足を引っかけると、けがや接続機器の故障の原因になります。
ケーブルの上に重量物を載せないでください。また、熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が破れ、接続機器などの故障の原因になります。

ディスクについて
ひび割れや補修したディスクは使用しないでください。
ディスクが割れてけがの原因になります。

接続端子への接触
USB コネクターなどの接続端子に手や金属で触れたり、針金などの異物を挿入したりしないでください。金属片のある場所に置かないでください。発煙したり接触不良などにより故障の原因になります。

注意

本装置の廃棄
本装置を廃棄する場合は、適切なリサイクル処理をお願いします。「資源の有効な利用の促進に関する法律（通称：改正リサイクル法）」にもとづき、本装置製造事業者である弊社は、お客さまのご依頼にもとづく事業者（法人所有）向けの本装置の回収リサイクルサービスと、ご家庭（個人所有）向けの回収リサイクルサービスを提供しています。当該サービスでは回収リサイクルの効果を向上させるなど、法律の趣旨に的確に対応していますので、ご利用ください。
お問い合わせ先→「お問い合わせ先」（P.4）

電波障害について
ほかのエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は、次のようにしてください。

- テレビやラジオなどからできるだけ離す。
- テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える。

ディスクの取り扱いについて
割れたり変形したディスクをドライブに入れないでください。ドライブの故障の原因になります。

静電気について
本装置は精密機器です。わずかな静電気も故障の原因になります。あらかじめ金属に触れるなどして、体から静電気を逃しておいてください。

移動について
ディスクの回転中に本装置を移動・振動させないでください。ディスクが外れて、ディスクを傷つける原因になります。

正しくお使いいただくために

使用場所について

■夏季の閉め切った自動車内や長時間直射日光の当たるところ、暖房器などの近くで使用したり、放置しないでください
変形・変色または故障の原因になることがあります。

ご使用について

■専用 USB ケーブル以外は使用しないでください
本装置やパソコンの故障の原因になることがあります。

■水や湿気、湯気、ほこり、油煙の多い場所（調理台や加湿器のそばなど）で使用しないでください
故障の原因になることがあります。

■本装置やディスクを結露した状態で使用しないでください
寒い場所から暖かい場所へ急に持ち込むと、水滴が付着（結露）し、誤動作、故障の原因になることがあります。

- ディスクを取り出し約 1 時間放置したのち、ご使用ください。

■本装置に磁石など磁気をもつものを近づけないでください
磁気の影響を受けて、動作が不安定になることがあります。

■本装置内部に金属物を入れないでください
故障の原因になります。

■レンズに触れないでください
音とびしたり、データが正常に書き込み・読み込みできなくなります。

■隣接して使用しているラジオやテレビに雑音が入るときは

- **2 m 以上離してください**

コピーコントロール CD について

■本装置は、CD 規格（コンパクトディスクデジタルオーディオ）に準じていない「コピーコントロール CD」などについては、動作や音質の保証は致しかねます。
■CD 規格に準じた CD の再生や読み出しに支障がなく、上記のような特殊ディスクで支障が出る場合は、ディスクやパッケージ、印刷物などをよくお確かめのうえ、ディスクの発売元へお問い合わせください。

書き込みについて

■本装置の使用や故障により生じたデータの損失ならびに直接的、間接的な損害につきましては、当社は一切の保証をいたしません。あらかじめご了承ください。
■重要なデータに関しては、万一に備えて元データと照合（ファイルコンペア等）を追加した状態で書き込みやバックアップ（複製）を行ってください。

著作権について

■本装置を利用して音楽用 CD 等の各種ディスク、インターネット上の画像や情報等著作権の対象となっている著作物を、複製または編集することについては、著作権法上、個人または家庭内など限られた範囲内での使用（以下「私的使用」と言います）のみ許容されます。
■利用者が著作権をお持ちでない著作物を権利者に無断で複製、編集することは著作権法で禁じられています。また、著作物によっては、その使用許諾条件で複製が制限されたり、禁じられている場合がありますので、「私的使用」を目的とする場合でも使用許諾条件の内容に従ってください。

使用できるディスクについて

本装置では、次のディスクが使用できます。

読み込み対応ディスク		読み書き対応ディスク
DVD-Video *1	Video CD*5	CD-R
DVD-RAM *2	CD-EXTRA	
DVD-R	CD-DA（音楽CD）	CD-RW
DVD-RW	CD TEXT *3	
DVD-ROM	Photo CD *4	
DVD+R/R DL	CD-ROM	
DVD+RW	CD-ROM XA	

ディスクの状態（記録品質、傷、汚れ、変形、コピープロテクションなど）によっては正常に読み込めない場合があります。

*1 再生可能な DVD-Video は、再生可能地域コード（リージョンコード）②（2 を含むもの）または ALL の表示があるものです。ほかの地域コードのものは、リージョンコードの設定変更が必要です。設定変更は 4 回までです。 4 回目以降の変更はできません。（☞ 33ページ）

*2 DVD-RAM ディスクの再生は、カートリッジから取り出し可能なメディアまたはカートリッジがないメディアで、UDF フォーマットのものに限ります。（☞ 13ページ）

*3 付属ソフトを使用することにより、再生が可能です。

*4 使用時には市販の専用ソフトが別途必要です。

*5 付属の Power DVD 5 では再生できません。

DVD ビデオレコーダーで録画したディスクに関するお知らせ

- DVD ビデオレコーダーで録画された DVD-RAM ディスクの再生には UDF2.0 形式に対応した DVD-RAMドライバーが必要です。
  Windows XP 以外は付属の DVD-RAMドライバーをインストールしてください。（Windows XP ではインストールは不要です。）
- DVD ビデオレコーダーで録画された DVD-R/RW の再生には、録画に使用した DVD ビデオレコーダーでファイナライズする必要があります。

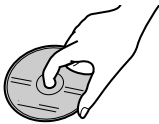
ディスクの取り扱いについて

ディスクは、正しい取り扱いをしないとデータの記録や再生が正常に行われず、データが損なわれたり、ドライブが故障する、などの障害が発生する場合があります。
本書および、ご使用のディスクの取扱説明書をよくお読みのうえご使用ください。

ディスクの取り扱い

■ディスクを長時間直射日光の当たる場所や高温の場所、湿度の高い場所に放置しないでください

ディスクが変形し、データが正常に書き込み・読み込みできなくなります。

■ディスクの信号記録面に触れないでください

ディスクが汚れると、データが正常に書き込み・読み込みできなくなります。

■乾いた布などでディスク表面を強くこすらないでください

ディスクが傷ついたり、変形したりすると、データが正常に書き込み・読み込みできなくなります。

■ディスクの指定の場所以外に文字を書いたり、ラベルを貼らないでください

ディスクが傷つくと、データが正常に書き込み・読み込みできなくなります。

- 文字などを書く場合は、フェルトペンなどペン先の軟らかいものをご使用ください。

■ディスクを薬品や洗剤で拭かないでください

ディスクが傷ついたり、変形したりすると、データが正常に書き込み・読み込みできなくなります。

■ディスクを投げたり、曲げたりしないでください

ディスクが傷ついたり、変形したりすると、データが正常に書き込み・読み込みできなくなります。

DVD-RAM ディスクについて

DVD-RAM ディスクは、「記録できる DVD」として、パソコンデータの大容量記録再生を目的に開発されたリムーバブルディスクです。

DVD-RAM ディスクには、以下のタイプがあります。

- **TYPE1**…カートリッジからのディスクの取り出しはできません。
- **TYPE2**…片面のディスクで、カートリッジからのディスクの取り出しができます。
- **TYPE4**…両面のディスクで、カートリッジからのディスクの取り出しができます。
- **カートリッジなし**

本装置でご使用いただける DVD-RAM ディスクは、カートリッジなしのタイプです。TYPE2 または TYPE4 の DVD-RAM ディスクは、カートリッジからディスクを取り出してご使用ください。本装置では再生のみ対応しています。

TYPE2、TYPE4 の DVD-RAM ディスクについて

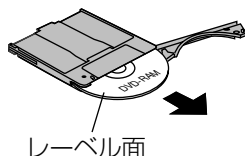
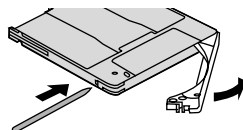
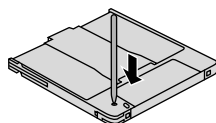
ディスクを取り出すには

カートリッジからのディスクの取り出しは、次の手順で行います。
〔イラストは松下電器産業（株）製 12 cm DVD-RAM ディスクで説明しています。
他社のディスクをご使用の場合は、ディスクの取扱説明書をご覧ください。〕

TYPE2 カートリッジからディスクを取り出すときは

1 **カートリッジのロックピンを、ボールペンなどの先のとがったもので押し、確実に折って、取り除く**

2 **カートリッジ左手前側面にある開閉用のへこみを、細いもので押さえ、開閉ふたを開ける**

3 **表面を汚したり、傷つけたりしないよう、ディスクを水平に取り出す**

ディスクを収納するときは

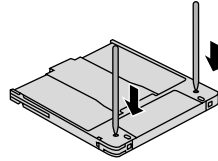
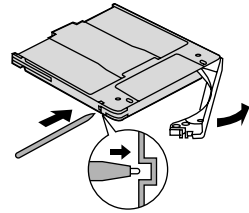
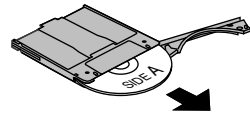
- カートリッジのデザイン面とディスクのレーベル面を同じ向きにしてディスクをカートリッジに挿入し、開閉ふたを閉じる位置まで戻します。
- 開閉ふたを閉じたあとにライトプロテクトの設定を確認してください。

取り扱い上のお願い

ディスクの取り扱い（☞13ページ）と下記内容にお気をつけください。

- 開閉ふたを開くときに無理な力を加えて破損させないでください。
  ディスクを取り出したあとのカートリッジには DVD-RAM 以外のディスクを入れて使用しないでください。
- ディスクが汚れた場合は、クリーナーでクリーニングしてください。ベンジン、シンナーや静電防止剤入りクリーナーなどは使用しないでください。
- 取り出したディスクは必ず元のカートリッジに戻して保管してください。

TYPE4 カートリッジからディスクを取り出すときは

1 **カートリッジのロックピン(2ヵ所)を、ボールペンなどの先のとがったもので押し、確実に折って、取り除く**

2 **カートリッジ左手前側面にある開閉用のへこみを、細いもので押さえ、開閉ふたを開ける**

3 **表面を汚したり、傷つけたりしないよう、ディスクを水平に取り出す**

ディスクを収納するときは

- カートリッジの A 面とディスクの A 面を同じ向きにしてディスクをカートリッジに挿入し、開閉ふたを閉じる位置まで戻します。
- 開閉ふたを閉じたあとにライトプロテクトの設定を確認してください。

取り扱い上のお願い

ディスクの取り扱い(☞13ページ)と下記内容にお気をつけください。

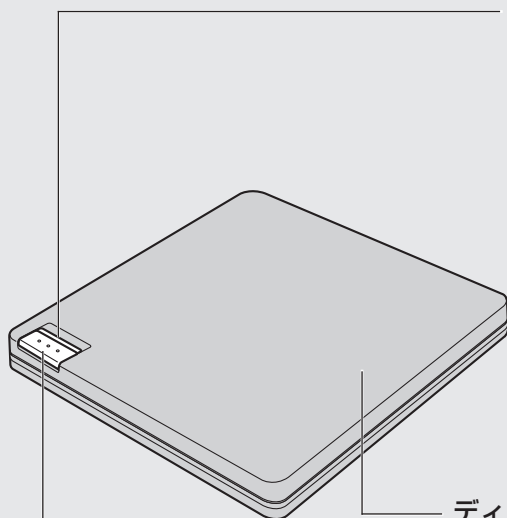
- 開閉ふたを開くときに無理な力を加えて破損させないでください。
  ディスクを取り出したあとのカートリッジには DVD-RAM 以外のディスクを入れて使用しないでください。
- ディスクが汚れた場合は、クリーナーでクリーニングしてください。ベンジン、シンナーや静電防止剤入りクリーナーなどは使用しないでください。
- 取り出したディスクは必ず元のカートリッジに戻して保管してください。

各部のなまえとはたらき

前面／天面

表示ランプ

緑色点灯	本装置の電源が入っているとき
オレンジ色点灯	データを読み書きしているとき

＊SmoothLink 機能時は、一時的に緑色点灯に変化します。

ディスクカバー(☞26ページ)

オープンボタン [OPEN]
(☞26ページ)

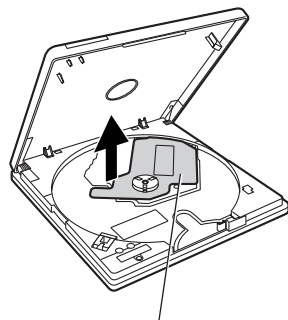
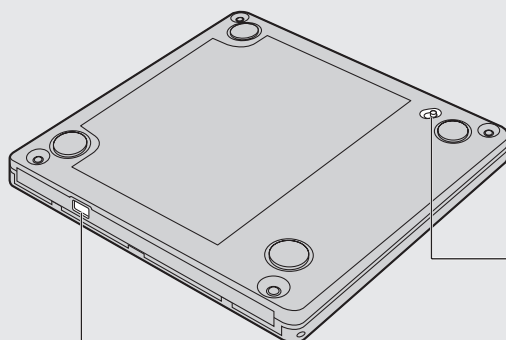
メディアに書き込み中はロックされます。

お願い

- ご使用いただく前に、必ず本装置のレンズ保護シートを取り外してください。
- ディスクカバーを開くには、28ページをご参照ください。

レンズ保護シート

お知らせ

- オープンボタンを押したり、書き込みが終了した場合などに、ディスクカバーのロックが解除されます。そのまま続けてご使用いただく場合は、ディスクカバーを完全に開けたあとでディスクカバーを閉じてください（☞ 26ページ）。

裏面／背面

本装置の電源は、パソコンの電源に連動して自動的に入/切されます。

セットアップする

本装置付属のソフトウェア

本装置には、次のソフトウェアが付属されています。
（付属の CD-ROM に収録）

DVD-RAMドライバー

UDF 2.0 形式でフォーマットされた DVD-RAM ディスクの読み込みを行うためのドライバーソフトです。（DVD ビデオレコーダーで録画された DVD-RAM ディスクは UDF 2.0 形式が使用されています。）
Windows 2000 ではインストールが必要です。

- 単品オプションとして購入した場合、付属の ユーティリティーディスクからインストールしてください。
- パソコンと同時購入の場合、『活用百科』CDからインストールしてください。

アプリケーション

アプリケーションは必要に応じてインストールしてください。

1. ビデオ再生ソフト …………………… Power DVD 5
DVD-Video や音楽CD などの再生に対応したマルチメディアプレーヤーです。

2. CD-R/RW 書き込みソフト ……… B's Recorder GOLD 8 BASIC for HITACHI
CD-R/RW、DVD-RAM、DVD±R/RW の各種ディスクに対応したライティングソフトウェアで、データの記録から映像や音楽ディスクの作成まで対応した、多彩な書き込みソフトです。
（本装置では DVD 系メディアへの書き込みには対応していません）

UDF 2.0 形式の DVD-RAM ディスクを使用するには

UDF2.0 形式でフォーマットされた DVD-RAM ディスクを読み込むためには、対応した DVD-RAMドライバーが必要です。
本装置付属の CD-ROM からインストールしてください。
DVD-RAM はカートリッジから取り出し可能なメディアまたはカートリッジのないメディアで UDF フォーマットされたものに限ります。

■ UDF2.0形式の DVD-RAM ディスクを使用する

DVD-RAM ディスクを使用しない場合は、「セットアップを確認する」(☞ 22ページ)へお進みください。

Windows XP では

OS 標準のものを使用しますので、DVD-RAMドライバーのインストールは不要です

↓

「セットアップを確認する」(☞ 22ページ)へお進みください

Windows 2000 では

本装置付属の DVD-RAMドライバーを使用します

↓

「DVD-RAMドライバーをインストールする」(☞ 20ページ)へお進みください

DVD-RAMドライバーをインストールする

本装置付属の DVD-RAMドライバーは、Windows 2000 用です。
Windows 2000 にインストールするには、必ず管理者権限(Administrator)のあるユーザーでログオンして、インストールしてください。

お願い
- パソコンは、セットアップ作業中に電源が切れないように AC 電源でご使用ください。

●『活用百科』CDからのインストール

1 パソコンの電源を入れ、管理者権限のあるユーザーでログオンする

2 『活用百科』CDをCD/DVDドライブに入れる

3 [スタート]ボタン－[ファイル名を指定して実行]をクリックする

[ファイル名を指定して実行]が表示されます。

4 e:¥programs¥dvdram¥win2k¥setupと入力して、[OK]ボタンをクリックする

セットアップが開始され、[DVD-RAMドライバーセットアップへようこそ]画面が表示されます。
＊e:はCD/DVDドライブ名です。

5 [次へ]ボタンをクリックする

[使用許諾契約]画面が表示されます。

6 [はい]ボタンをクリックする

[インストール先の選択]画面が表示されます。

7 [次へ]ボタンをクリックする

[プログラムフォルダの選択]画面が表示されます。

8 [次へ]ボタンをクリックする

[ファイルコピーの開始]画面が表示されます。

9 [次へ]ボタンをクリックする

[セットアップステータス]画面が表示されます。
ファイルのコピー後、[Windows 2000 ドライバーソフト 制限事項]画面が表示されます。

10 [Windows 2000 ドライバーソフト 制限事項]画面を閉じる

[Install Shield ウィザードの完了]画面が表示されます。

11 [完了]ボタンをクリックする

[DVD-RAMデバイスの検出]画面表示後、[システム設定の変更]画面が表示されます。

12 [はい]ボタンをクリックする

パソコンが立ち上げ直されます。

●ユーティリティーディスクからのインストール

1 パソコンの電源を入れ、管理者権限のあるユーザーでログオンする

2 ユーティリティーディスクをCD/DVDドライブに入れる

3 [スタート]ボタンー[ファイル名を指定して実行]をクリックする

[ファイル名を指定して実行]が表示されます。

4 e:¥dvdram¥win2k¥setupと入力して、[OK]ボタンをクリックする

セットアップが開始され、[DVD-RAMドライバーセットアップへようこそ]画面が表示されます。
＊e:はCD/DVDドライブ名です。

5 [次へ]ボタンをクリックする

[使用許諾契約]画面が表示されます。

6 [はい]ボタンをクリックする

[インストール先の選択]画面が表示されます。

7 [次へ]ボタンをクリックする

[プログラムフォルダの選択]画面が表示されます。

8 [次へ]ボタンをクリックする

[ファイルコピーの開始]画面が表示されます。

9 [次へ]ボタンをクリックする

[セットアップステータス]画面が表示されます。
ファイルのコピー後、[Windows 2000 ドライバーソフト 制限事項]画面が表示されます。

10 [Windows 2000 ドライバーソフト 制限事項]画面を閉じる

[Install Shield ウィザードの完了]画面が表示されます。

11 [完了]ボタンをクリックする

[DVD-RAMデバイスの検出]画面表示後、[システム設定の変更]画面が表示されます。

12 [はい]ボタンをクリックする

パソコンが立ち上げ直されます。

お知らせ

- DVD-RAMドライバーをインストールしたあとで、DVD-RAMドライバーを有効にするには、パソコンを立ち上げ直す必要があります。

■ DVD-RAMドライバーをアンインストールするには

次の手順を行ってください。

1 パソコンの電源を入れ、管理者権限のあるユーザーでログオンする

2 [スタート]ボタンー[設定]ー[コントロールパネル]をクリックして、[コントロールパネル]を開き、[アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックする

[アプリケーションの追加と削除]画面が表示されます。

3 [現在インストールされているプログラム]の中から[DVD-RAMドライバー]をクリックする

4 [変更と削除]ボタンをクリックする

5 以降、画面の指示に従いアンインストールする

セットアップを確認する

1 パソコンと本装置を接続する

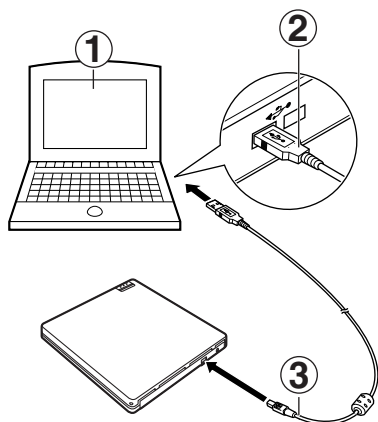
2 本装置にディスクを入れずに「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックする

お知らせ

- ドライブアイコン (Windows XP)、 (Windows 2000)の表示が追加されていれば、本装置を使用することができます。
- 正常に表示されない場合、「表示」メニューの「最新の情報に更新」を選択してください。
- ドライブアイコンが追加されていない場合には、「故障かな？と思ったら」(☞ 36ページ)をご参照ください。

準備

パソコンに接続する

本装置の接続

① **パソコンを立ち上げる**

② **専用 USB ケーブルのプラグ（大きい方）をパソコンの USB コネクターに差し込む**

③ **専用 USB ケーブルのプラグ（小さい方）を、本装置の USB コネクターに差し込む**

本装置の電源が自動的に入り、表示ランプが緑色に点灯します。

お願い

- 専用 USB ケーブル以外は使用しないでください。（本装置やパソコン本体を損傷するおそれがあります。）
- 専用 USB ケーブルは本装置専用です。本装置以外では使用しないでください。
- 本装置は、パソコンの USB コネクターに直接接続してください。USB ハブ経由での接続は動作保証いたしかねます。
- 本装置がパソコンに接続された状態で、パソコンが動作中は本装置の電源は切らないでください。
- 本装置の電源は、パソコンの電源およびスリープに連動して自動的に入／切されます。パソコンによっては連動しない場合があり、自動的に切れない状態では常時パソコンの電力を消費しますので、付属ケーブルを取り外してください。

お知らせ

- 専用 USB ケーブルを抜き差しすることで、本装置の電源は自動的に入／切されます。
- 書き込みを長時間行う場合、パソコンは電源が切れないように AC 電源でのご使用をお勧めします。
- ご使用のパソコンに複数の USB ポートがある場合、ポートによってはUSB ポートの電源供給能力に違いがあることがあります。
- 本装置を使用する場合は、本装置単独でのご使用をお勧めします。

付属ケーブルの取り外し

専用 USB ケーブルを取り外す前に、書き込みソフトでの書き込みやデータの読み出し、音楽再生などの動作を終了し、本装置からディスク（メディア）を取り出してください。

お願い

- 本装置の取り外しは、パソコン（Windows）側で取り外しの操作をしたあとに、接続とは逆の順序で行ってください。
- 表示ランプがオレンジ色点灯中は、専用 USB ケーブルを抜かないでください。
- USB ケーブルの取り外しは、USB プラグ部分を持って取り外してください（ケーブルを引っ張ると本装置やパソコン本体の故障の原因となることがあります）。

1 画面右下（タスクトレイ）の「ハードウェアの取り外し」アイコン **をダブルクリックする**

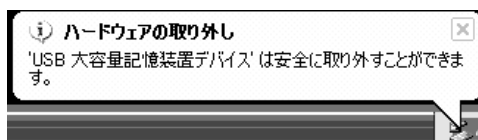
「ハードウェアの取り外し」画面が表示されます。
（OS によっては、表現が一部異なる場合がありますので、ご使用の OS の表現に読み替えてください。）

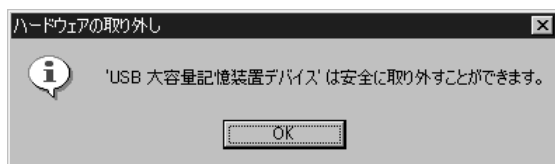
2 「USB 大容量記憶装置デバイス」を選択し、 停止 ボタンをクリックする

「ハードウェアデバイスの停止」画面が表示されます。

3 「GENERIC CDRCB06 USB Device」が接続されていることを確認し、 OK をクリックする

以降は画面の指示に従って操作してください。
専用 USB ケーブルを取り外したあとに、「ハードウェアの取り外し」画面を閉じてください。

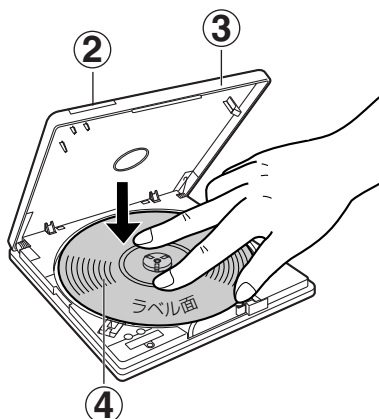
■ Windows XP の場合

（しばらくすると自動的に消えます）

■ Windows 2000 の場合

お知らせ

- 取り外し操作後は表示ランプが消灯します。
  再び使用するには USB ケーブルを抜き差ししてください。

ディスクを入れる／取り出す

本装置は、電動オープン機構になっているため、電源が入っていないときはオープンボタンを押してもディスクカバーは開きません。

ディスクを入れる

① 本装置の電源を入れる

本装置の電源は、パソコンの電源に連動して自動的に入／切されます。

② オープンボタンを押す

ディスクカバーが少し開きます。
（使用中のアプリケーションからディスクの「取り出し」を選択しても、ディスクカバーを開くことができます。）

③ ディスクカバーを持ち上げる（開く）

④ ディスクを入れる

ディスクの中心付近をディスクが固定されるまで指で押さえます。

⑤ ディスクカバーを閉じる

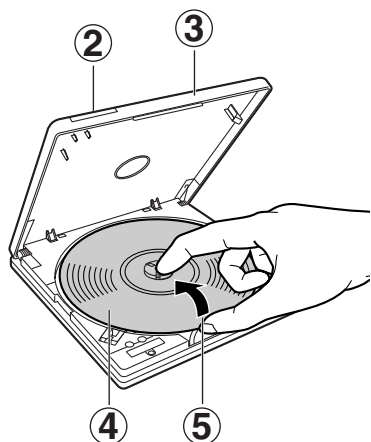
お願い

- ディスクは、確実にセットしてください。（確実にセットしないと、ディスクが外れ、傷つくことがあります。）
- ディスクカバーを閉じる際に、指を挟み込まないように注意してください。
- 電源が入っていない場合は、ディスクカバーロックの強制解除を行ってください。（☞ 28ページをご参照ください。）

お知らせ

- オープンボタンを押したり、書き込みが終了した場合などに、ディスクカバーのロックが解除されます。そのまま続けてご使用いただく場合は、ディスクカバーを完全に開けたあとでディスクカバーを閉じてください。
- 本装置でご使用いただける DVD-RAM ディスクは、カートリッジなしのタイプです。TYPE2 または TYPE4 の DVD-RAM ディスクは、カートリッジからディスクを取り出してご使用ください。

本装置は、電動オープン機構になっているため、電源が入っていないときはオープンボタンを押してもディスクカバーは開きません。

ディスクを取り出す

① **本装置の電源を入れる**
本装置の電源は、パソコンの電源に連動して自動的に入／切されます。

② **オープンボタンを押す**
ディスクカバーが少し開きます。
（本装置を使用中のアプリケーションからディスクの「取り出し」を選択しても、ディスクカバーを開くことができます。）

③ **ディスクカバーを持ち上げる（開く）**

④ **ディスクの回転が完全に止まるのを確認する**

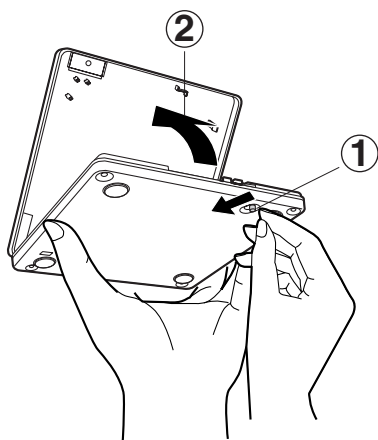
⑤ **ディスクを取り出す**
中央部分を押さえながら、端の方からつまみあげるようにして、取り出します。

お願い
- パソコンと接続して使用している場合は、本装置を使用しているアプリケーションを必ず終了させたあとで、本装置の表示ランプがオレンジ色点灯していないことをご確認ください。（オレンジ色点灯中は、データの読み書き中のためディスクカバーを開けないでください。）

お知らせ
- データ書き込み中はディスクカバーがロックされますので、オープンボタンを押してもディスクカバーを開けることができません。

ディスクが取り出せないときは

■ ディスクカバーロックの強制解除

ディスクにデータ書き込み中の異常、停電などでオープンボタンを押してもディスクカバーが開かないときや本装置の電源が入っていないときは、ディスクカバーロックを強制的に解除し、ディスクカバーを開けることができます。

① 本装置裏側の強制オープンレバーをスライドさせる

② ディスクカバーを持ち上げる（開く）

お願い

- ディスクの回転が止まらないときは、次の操作を行い完全に回転を止めてください。
  - ・専用 USB ケーブルを本装置の USB コネクターから抜く

  回転中にディスクカバーを開けるとディスクが外れることがあります。

DVD-RAM ディスクを使う

DVD-RAM を使う

本装置でご使用いただける DVD-RAM ディスクは、カートリッジなしのタイプです。TYPE2 または TYPE4 の DVD-RAM ディスクは、カートリッジからディスクを取り出してご使用ください。

お願い

- カートリッジから取り出したディスクの表面は、ごみやほこり、指紋などで汚したり、傷つけたりしないでください。また、落としたり、曲げたり、ラベルを貼らないでください。データの読み込みができなくなります。

お知らせ

- DVD-RAM ディスクの取り出しかたは、製造メーカーによって異なる場合があります。ディスクの取扱説明書をよくお読みください。
- DVD-RAM ディスクの場合、ディスクを認識するまでに時間がかかることがあります。そのような場合は、一度ディスクを取り出してセットし直してください。
  ディスクの状態（書き込み品質、汚れ、傷など）によっては、正常に読み込みができない場合があります。

DVD ビデオレコーダーで記録された DVD-RAM ディスクについて

「ビデオレコーディング規格」準拠の DVD ビデオレコーダーや DVD ビデオカメラおよび同規格準拠の DVD-MovieAlbumSE 3 などのパソコン用記録ソフトで記録された DVD-RAM ディスクには“DVD_RTAV”フォルダーが作成されます。

このフォルダーやフォルダー内のファイルを削除、変更すると、DVD ビデオレコーダーやパソコン用記録ソフトで再生ができなくなります。

各種ディスクを使う

■ CD-R、CD-RW ディスクを使う

付属の B's Recorder GOLD 8 BASIC for HITACHI（☞ 34ページ）を使用して、データや音楽ディスクの作成ができます。
使用方法は、プログラムのヘルプをご参照ください。

■ ビデオを再生する

付属の Power DVD 5（☞ 32ページ）を使用して、DVD-Video が再生できます。

■ DVD-ROM / CD-ROM ディスクを使う

DVD-ROM /CD-ROM の使用方法については、それぞれのディスク（アプリケーション）に付属の説明書や Readme ファイルなどをご参照ください。

■ 音楽 CD を再生する

本装置で音楽 CD を再生するには、パソコンのデジタル再生が「有効」に設定されている必要があります。デジタル再生が「有効」に設定されていれば、パソコンに接続されたスピーカー（パソコン内蔵の場合もあります）から音楽を聞くことができます。

アプリケーションをインストールする前に

他社または旧バージョンの書き込みソフトや DVD ビデオ再生ソフトがインストールされている場合は、あらかじめ削除してください。
インストールされていない場合は、付属ソフトのインストールにお進みください。

■ アプリケーションの削除方法

OS によっては表現が一部異なる場合がありますので、ご使用の OS の表現に読み替えてください。

1 **タスクバーから［スタート］ボタン →［コントロールパネル］→［プログラムの追加と削除］を選択する**

「プログラムの追加と削除」画面が表示されます。

2 **「現在インストールされているプログラム」の一覧で削除するソフトを選択し、 変更と削除 をクリックする**

以降は画面の指示に従って操作してください。

3 **アプリケーションの削除が完了したら、プログラムの追加と削除を終了して、パソコンを立ち上げ直す**

ビデオ再生ソフトのインストール

■ 付属のビデオ再生ソフトについて

本装置にはビデオ再生ソフトとして、CyberLink 社製 Power DVD 5 が付属していますので、付属の CD-ROM からインストールしてください。

参照

・Power DVD 5 の詳しい使い方について→「Power DVD 5 OEM版」CD-ROM 内の¥Doc¥Jpn¥PowerDVD_UG.pdf をご参照ください。

●インストール手順

1 「Power DVD 5 OEM版」CD-ROM を本装置にセットする

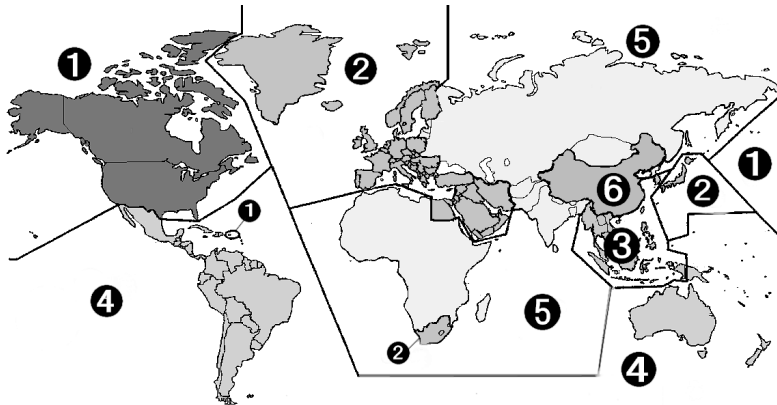
「Power DVD Setup」画面が表示されます。

ヒント

・画面が表示されないときは、「Power DVD 5 OEM版」CD-ROM内の「setup.exe」を実行してください。

2 以降、画面の指示に従ってインストールする

■ 再生可能地域コード（リージョンコード）について

多くの DVD ビデオ（DVD ディスク）は、リージョンコードにより保護されています。リージョンコードは、下図のように地域ごとに管理されています。

DVD ビデオを見るためには、下記のリージョンコードが一致している必要があります。

- DVD ディスクのリージョンコード
- 本装置のリージョンコード
- 再生ソフトのリージョンコード

異なるリージョンコードの DVD タイトルを再生しようとした場合は、リージョンコードの設定画面が表示されます。設定内容を確認し OK をクリックすれば、再生ソフトと DVD タイトルの再生ドライブ（本装置）は、その新しいリージョンコードに設定されます。設定変更後に再生が始まります。

本装置出荷時のリージョンコードは 2 に設定されています。
変更は合計5回まで行うことが可能ですが、出荷時に1回目を使用しますので、変更可能な回数は4回までとなります。

お知らせ

- **4回目以降は最後に設定したリージョンコードに固定され、変更はできなくなりますので、十分にお気をつけください。**
  不正にリージョンコードを改変した場合のトラブルは、お客様の責任となります。

使う

書き込みソフトのインストール

■ 付属の書き込みソフトについて

本装置には書き込みソフトとして、BHA 社製 B's Recorder GOLD 8 BASIC for HITACHIが付属していますので、付属の CD-ROM からインストールしてください。
本装置では DVD 系のメディアに対する書き込み・消去はできません。

お願い

- ご使用のパソコンに、旧バージョンまたは他社の同じ機能のソフトがインストールされている場合は、あらかじめ削除してください。
  （削除方法については、☞ 31ページをご参照ください。）
  他社のパケット記録ソフトと重複してインストールすると、DVD-RAMドライバーが正常に動作しない場合があります。
- 書き込みソフトのインストールは、DVD-RAMドライバーのインストールが終了したあとで行ってください。

お知らせ

- 必ず管理者権限（Administrator）のあるユーザー名でログインして、インストールしてください。

使う

●インストール手順

1 「B's Recorder GOLD 8 BASIC for HITACHI」CD-ROM を本装置にセットする

「B.H.A Setup Launcher」画面が表示されます。

ヒント

・画面が表示されないときは、「B's Recorder GOLD 8 BASIC for HITACHI」CD-ROM 内の「setup.exe」を実行してください。

2 [B's Recorder GOLD 8 BASIC] ボタンをクリックする

「B's Recorder GOLD 8 BASIC for HITACHI セットアップ」画面が表示されます。

3 以降、画面の指示に従ってインストールする

お手入れ

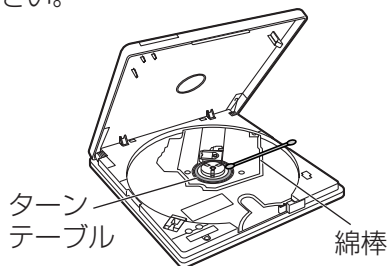
■本体表面が汚れたら

柔らかい布でふいてください。

■ターンテーブルが汚れていたら

ターンテーブル（黒い部分）を綿棒（市販品）で円周状に軽くふいてください。

ターンテーブル

綿棒

レンズにはふれないでください。

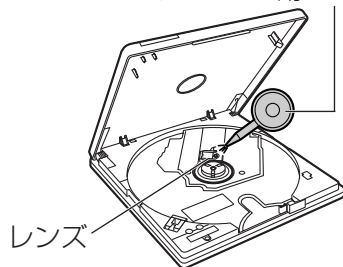
■ディスクが汚れていたら

柔らかい布で、内側から外側へ放射状に軽くふいてください。

■レンズが汚れていたら

レンズをカメラのレンズ用ブロワー（市販品）でお手入れしてください。

カメラのレンズ用ブロワー

レンズ

ディスクタイプのレンズクリーナーのご使用は、故障の原因となる場合があります。

お願い

- レコードクリーナー、静電防止スプレーや薬剤（ベンジン、シンナー、アルコールなど）は使わないでください。変形、変色の原因になります。

故障かな? と思ったら

まず、次の表に従って確認してください。それでも直らないときは、日立コールセンタまたはご購入先にお問い合わせください。

	こんなときには	ここをお調べください
1	本装置がパソコンに認識されない、または正常に動作しない	**ケーブルが正しく接続されていますか？** ● 正しく接続されているかご確認ください。☞ 23ページ
		パソコンへのセットアップを行いましたか？ ● パソコンのセットアップ（DVD-RAMドライバーのインストール）を行ってください。☞ 18、20ページ
		正常なケーブルの取り外しをしましたか？ 本書記載の手順（☞ 24ページ）に従わなかった場合、ドライブアイコンが見えなくなる場合があります。パソコンを立ち上げ直してください。
		ケーブルのピンが曲がったり、折れたりしていませんか? 日立コールセンタにご相談ください。☞ 4ページ
		本装置の電源が切れていませんか？ パソコンを立ち上げ直してください。

（次ページに続きます。）

こんなときには	ここをお調べください

1 本装置がパソコンに認識されない、または正常に動作しない

デバイスマネージャでドライバーが正しく組み込まれているか確認してください。
（OS によっては、表現が一部異なる場合がありますので、ご使用 OS の表現に読み替えてください。）

1. **［スタート］→［マイコンピュータ］を右クリック→［プロパティ］を選択する**
2. **［ハードウェア］→［デバイスマネージャ］→［表示］→［デバイス（種類別）］を選択する**

インストール後、本装置がパソコンに接続されると次のように表示されます。

（OS 標準ドライバー）

DVD/CD-ROM ドライブ
GENERIC CDRCB06 USB Device
USB (Universal Serial Bus) コントローラ
USB 大容量記憶装置デバイス

2 DVD-RAM ディスクが認識されない

UDF 形式でフォーマットされたディスクを使っていますか？

DVD ビデオレコーダーで UDF2.0 形式にフォーマットされたディスク、または DVD-RAM ドライブで UDF1.5 または UDF2.0 形式にフォーマットされたディスクをお使いください。

UDF2.0 形式でフォーマットされたディスクをセットしていませんか？

DVD-RAMドライバーをインストールしてください。☞ 20ページ

ディスクが汚れたり傷ついたりしていませんか？

ディスクが汚れたり傷ついたりすると、読み込みができない場合があります。

- お手入れしてください。☞ 13、35ページ

	こんなときには	ここをお調べください
3	DVD±R、DVD+R DL、DVD±RW ディスクが読み込めない	**ご使用の DVD ディスク（メディア）の形式や書き込み方式は正しいですか？** 本装置で使用できる DVD-R は 4.7 GB（For General / Authoring）および 3.95 GB、DVD-RW は 4.7 GB の Ver1.1/ Ver1.2に対応している必要があります。 ● 本装置で使用できるディスク（メディア）記録方式は、下記ページをご参照ください。 ☞ 12、30、47ページ
4	ディスクが取り出せない（ディスクカバーが開かない）	**本装置が動作中になっていませんか？** ● ディスクにデータ書き込み中はオープンボタンを押してもディスクカバーは開きません。書き込みが終了するのをお待ちください。
5	本装置が温かい	故障ではありません。 異常に高温になる場合は、日立コールセンタまたはご購入先にご相談ください。 ☞ 4ページ
6	正常な書き込みができない	**ご使用のメディアや書き込み方式は正しいですか？** ● Windows XP をお使いの場合は、Windows XP の書き込み機能を使用しない設定にしてください。 **1** [スタート] → [マイコンピュータ] をクリックし、DVD/CD-RWドライブ（本装置）を右クリックし、[プロパティ] をクリックする **2** [書き込み] タブをクリックし、[このドライブでCD書き込みを有効にする] のチェックを外す ●「こんな疑問や質問があったら」（☞ 40ページ）および書き込みソフトのヘルプをご参照ください。

こんなときには	ここをお調べください
7 ディスクを入れたのに音とびしたり、データが読み書きできない	**ラベル面を上にして、ディスクを入れていますか？** ディスクの向きをご確認ください。☞ 26ページ
	ディスクまたは本装置のレンズが汚れていませんか? お手入れしてください。☞ 35ページ
	ディスクに傷がありませんか？ 本装置に異常がないことを確かめるために、別のディスクに取り替えてみてください。
	ゴミが本装置のターンテーブルの上に付着していませんか？ お手入れしてください。☞ 35ページ
	本装置やディスクが結露していませんか？ ディスクを取り出して約1時間放置してください。
	本装置対応のディスクを使用していますか？ お使いのディスク(メディア)をご確認ください。 ☞ 12、46、47ページ
8 音が聞こえない	**パソコンの音楽 CD 再生ソフトを使って本装置で音楽 CD を再生する場合は、デジタル再生を「有効」に設定する必要があります。 デジタル再生は「有効」に設定されていますか？** デジタル再生を「有効」に設定してください。
	パソコン側の音量ボリュームを下げすぎていませんか？　また、音量ボリュームの設定が「ミュート」になっていませんか？ パソコン側の音量ボリュームを調整してください。

こんな疑問や質問があったら

本装置についての疑問は、「故障かな? と思ったら」を先にお読みください。
(☞ 36ページ)

■ 書き込みについて

Q 書き込み途中で失敗してしまうのですが、どうしたらいいですか？

A SmoothLink 機能が動作していない可能性があります。書き込みソフトの SmoothLink 機能の設定と下記内容をお確かめください。

- サスペンド／レジューム機能が働かないようにする。
- 常駐ソフトやその他のプログラムを終了する。

SmoothLink 機能を使用しない場合は、メディアへ書き込むためのデータがパソコンから送られてくるときに、そのデータが途中で途切れたりすると書き込みが失敗してしまいます。

これを防ぐには、

- 書き込み速度を変えてみる。(低速にする)
  実際に書き込みを行う前に、書き込みソフトで「テスト書き込み」を行ってご確認ください。パソコンの使用環境によっても使用可能な書き込み速度が変わる場合がありますので、下記内容をお確かめください。
- ハードディスクのメンテナンスを行う。
  (スキャンディスクの後にデフラグを行ってください。)
- サスペンド／レジューム機能が働かないようにする。
- 常駐ソフトやその他のプログラムを終了する。
- スクリーンセーバーを止める。
- Active Desktop を止める。
- ネットワーク接続をしない。

Q 書き込みに失敗するのですが？

A 本装置の推奨メディアをご使用ください。合わせてご使用のメディアと書き込み速度をお確かめください。

- ディスク（メディア）は本装置の推奨品をご使用ください。（☞ 46ページ）

Q 書き込みに時間がかかるのですが？

A ご使用のメディアによっては、指定の書き込み速度で書き込みできない場合があります。

Q 書き込む前と後ではデータのサイズが違うのですが？

A ディスク（メディア）とハードディスクなどのセクタサイズが違うことが原因です。そのため、ディスク（メディア）に書き込んだときは、ハードディスクなどに格納されたデータサイズより若干大きくなります。
また、書き込みモードによっては、書き込むデータのほかに情報エリア分の領域も使用します。

Q 複数のドライブ、または複数の書き込みソフトを使用して追記できますか？

A 同じドライブ、同じソフトで書き込むようにしてください。
追記する前のデータが読み込めなくなったり、本装置およびその他のドライブでデータの読み込み・書き込みが正常にできなくなる場合があります。

Q パソコンにいくつもの書き込みソフトをインストールしたままで書き込みできますか？

A 次の場合、正常に書き込みできないことがあります。

- 複数の書き込みソフトが同時に起動されている。（常駐するタイプの書き込みソフト含む）
- バージョンの違う書き込みソフトがインストールされている。

■ 読み込みについて

Q 最高速で読み込めないのですが？

A USB2.0 に設定されているかご確認ください。デバイスマネージャでドライバーが正しく組み込まれているか確認してください。
（OS によっては、表現が一部異なる場合がありますので、ご使用の OS の表現に読み替えてください。）

1. ［スタート］ボタン→［マイコンピュータ］を右クリック→［プロパティ］を選択する
2. ［ハードウェア］→［デバイスマネージャ］→［表示］→［デバイス（接続別）］を選択する

インストール後、本装置がパソコンに接続されると次のように表示されます。

USB2.0 に設定されている場合（Windows XP 例）

PCI バス
Intel(r) 82801DB/DBM USB 2.0 Enhanced Host Controller - 24CD
USB 2.0 Root Hub
USB 大容量記憶装置デバイス
GENERIC CDRCB06 USB Device

通常 **Enhanced Host Controller** に接続されます。

USB1.1 に設定されている場合（Windows XP 例）

PCI バス
Intel(R) 82801DB/DBM USB Universal Host Controller - 24C7
USB ルート ハブ
USB 大容量記憶装置デバイス
GENERIC CDRCB06 USB Device

通常 **Universal Host Controller** または **Open Host Controller** に接続されます。

Q 最高速で読み込めないのですが？

A ディスクによっては最高速で読み込めないものがあります。

- 規格外ディスクの場合は、最高速では読み込めない場合があります。

Q 本装置で書き込んだディスク（メディア）は、ほかのドライブでも読み込めますか？

A
- CD-R/RW の場合
  マルチリードに対応したドライブをご利用ください。
  一部の CD-ROM ドライブでは、読み込みできない場合があります。

Q ほかのドライブで書き込まれたディスク(メディア)は読めますか？

A 通常は読み込めます。
ただし、いくつものドライブで書き込まれたものは、読み込めない場合があります。
また、一部のドライブによって書き込まれたメディアは、読み込みできない場合があります。

Q 音楽データ（CD-DA 形式）をパソコン側に取り込みたいのですが？

A 付属の書き込みソフトを使用してデータの取り込みを行ってください。パソコン上で、本装置よりドラッグ＆ドロップをしてもハードディスクなどには取り込めません。

A コピープロテクト（コピーコントロール）された CD からのデータ取り込みには対応していません。

■ DVD ビデオ再生について

Q DVD ビデオの音や画像がスムーズに再生できない

A DVD ビデオをスムーズに再生するには、パソコンのシステム能力が要求されます。DVD ビデオ再生ソフトのヘルプおよび下記の事項をご確認ください。

- インタフェースが USB1.1 の場合、画像や音声が途切れることがあります。
  USB2.0 でご使用ください。
- ほかのアプリケーションを立ち上げていたら終了してください。多くのアプリケーションを立ち上げると、CPU 能力が不足する場合があります。
- ディスプレイの表示領域や色の設定を変更してください。表示領域や表示色を少なくすると、CPU 能力を有効に使用できます。
- CPU のスピード設定をご確認ください。パソコンによっては、CPU 能力の低い省電力モードに設定されている場合があります。
- 音声がミュートに設定されていないかご確認ください。

Q DVD ビデオが再生できない

A DVD ビデオ再生ソフトのヘルプおよび下記の事項をご確認ください。

- 複数のドライブが接続されている場合は、本装置が選択されていない場合があります。
- DVD ビデオと本装置および、再生ソフトのリージョンコードが合っていないと再生できません。リージョンコードが合っているかご確認ください。

Q DVD ビデオが再生できない

A DVD の記録方式によっては、自動再生できない場合があります。
下記の方法でご使用ください。

- はじめに Power DVD を立ち上げて本装置にディスクをセットしてください。
- Power DVD の再生メニューからファイルを選択して、再生してください。

■ その他

Q 付属以外の書き込みソフトで、本装置が認識されません。どうしてですか？

A 書き込みソフトが、本装置に対応しないとご使用いただけません。

Q 縦置きで使用できますか？

A 縦置きでの動作は保証されておりません。
故障の原因となる場合があります。
水平に設置された状態でご使用ください。

推 奨 品

■ 推 奨 品

<table>
<tr><th>ディスク</th><th>メーカー</th></tr>
<tr><td>CD-R</td><td>太陽誘電(株)、(株)リコー、三菱化学メディア(株)、
日立マクセル(株)</td></tr>
<tr><td>CD-RW</td><td rowspan="3">三菱化学メディア(株)</td></tr>
<tr><td>High Speed CD-RW</td></tr>
<tr><td>Ultra Speed CD-RW</td></tr>
</table>

アフターケアについて

・保証書については、パソコン本体に添付されているものを、ご参照もしくはご使用ください。
・保守サービスをお受けになる際は、お問い合わせ先にご相談ください。
・保守部品の保有期間は、製造終了後原則6年です。

仕 様

使 用 環 境	温度 5 ℃～35 ℃　湿度 20 %～80 %（結露なきこと）
保 存 環 境	温度 −20 ℃～55 ℃ 湿度 15 %～85 %（結露なきこと）
本体外形寸法	135 (幅)×136 (奥行き)×15 (高さ) mm
本 体 質 量	約 280 g
電　源	DC5V
消 費 電 力	約 5 W
対応インタフェース	USB2.0 および USB1.1（USB 2.0 での動作を推奨します）
専用 USB ケーブル	ケーブルの長さ　：約 0.5 m（コネクターを含む） 質量　：約 30 g
バッファー容量	2 MB
読み込み・書き込み対応 ディスク*[1]	CD-R、CD-RW、High Speed CD-RW、Ultra Speed CD-RW（いずれも、650 / 700 MB）
記録方式	Track at once、Disc at once、Multisession
読み込み対応ディスク*[1]	CD-ROM（Mode 1、Mode 2 Form 1）、CD-ROM XA（Mode 2 Form 2）、CD-DA（音楽 CD）、CD-TEXT、CD-EXTRA、Photo CD（マルチセッション対応）*[2]、Video CD*[3]、DVD-ROM、DVD-Video、DVD-RAM 4.7 / 9.4 / 2.6 / 1.4 / 2.8 GB*[4]、DVD-R（for General、Ver 2.0） 1.4 / 4.7 GB、DVD-RW（Ver 1.1/1.2） 4.7 GB DVD+R（Ver 1.0/1.1/1.2） 4.7 GB、DVD+R DL（Ver 1.0） 8.5 GB、DVD+RW（Ver 1.1/1.2） 4.7 GB

*[1] ディスク容量はアンフォーマット時の容量です。
両面ディスクは、同時に両面の再生はできません。
DVD-RAM、DVD±R/RW への記録には対応していません。
*[2] Photo CD 使用時には市販の再生ソフトが必要です。
*[3] 付属のPower DVD 5では再生できません。
*[4] カートリッジ形式のディスクは、TYPE2、TYPE4 のディスク取り出しができるものに限ります。

リージョンコード設定		出荷時設定	2（日本地域に設定）
		設定変更回数	4回（4回目以降は変更不可）
シークタイム		DVD-ROM	200 ms（typ.）
		CD-ROM	240 ms（typ.）
連続データ転送速度*5 （USB 2.0の場合） 1倍速の転送レート DVD メディア：1350 KB/s CD メディア：150 KB/s	書き込み	8 / 4 倍速（CD-R） 4 倍速（CD-RW） 10/8/4倍速（High Speed CD-RW/Ultra Speed CD-RW）	
	読み込み	最大 20 倍速（CD-ROM / CD-R /RW） 最大 20 倍速（CD-DA） 最大 6 倍速（DVD-ROM ） 最大 4 倍速（DVD±R/RW/DVD+R DL/DVD-Video） 2 倍速（DVD-RAM 4.7 GB） 1 倍速（DVD-RAM 2.6 GB）	

*5 データ転送速度はパソコンの性能に依存し低下する場合があります。

※ 製品の定格およびデザインは、改善などのため、予告なく変更する場合があります。

用語解説

BIOS (バイオス)	正式名は Basic Input Output System で、フロッピーディスクドライブやハードディスクドライブなどのディスクドライブ、キーボードなどパソコンのハードウェアを動かすために必要となる最も基本的なソフトウェアです。通常はパソコン本体に内蔵されています。
CD-EXTRA	音楽 CD のデータの他に、CD-ROM のデータが記録された CD のことです。特に内周側を通常の音楽 CD、それより外周側を CD-ROM として使用しているものの呼称です。 COMPACT disc+ DIGITAL AUDIO や CD EXTRA TM のマークが入っています。
CD-R	正式名は Compact Disc Recordable で、一度だけ記録可能なコンパクトディスクです。一度記録したデータの消去や書き換えはできません。記録(書き込み)モードによっては、空き領域に追記が可能です。
CD-RW	正式名は Compact Disc ReWritable で、記録したデータ全体または最後のセッションが消去でき、再度記録や書き換えが可能です。
CPRM	Content Protection for Recordable Media の略で著作権保護技術のひとつで、録画を制限します。 デジタル放送にも適用され、1回だけ録画可能です。 CPRMに対応した機器や再生ソフトとメディア（DVD-RAM, DVD-RW）でないと録画や再生ができません。
DVD	正式名は Digital Versatile Disc（デジタル多目的ディスク)で、CD と同じサイズの DVD-ROM はCD-ROM の7倍以上のデータ容量を持っています。
DVD MULTI PLAYER	DVD機器の互換性を保証する規格で、「DVD MULTI PLAYER」のロゴを持つドライブなら、DVD-RAM/DVD-R/DVD-RWの各フォーマットでの再生ができます。
DVD-R	DVD規格のひとつで、追記可能な1回記録型のDVDメディアです。

用語解説

用語	説明
DVD-RAM	DVD 規格のひとつで、繰り返しディスクにデータの読み出し・書き込みができる（リムーバブル）ディスクのことです。
DVD-RW	DVD規格化のひとつで、繰り返し記録再生ができるDVDメディアです。
DVD-Video（ビデオ）	DVD 仕様のひとつで、映画など、主に家庭用ビデオソフトを DVD に記録したものです。ビデオの音声の言語や字幕、カメラアングルなどを切り替える機能があります。
DVD+R	+RW アライアンスによって策定された、追記可能な1回記録型のメディアで、DVD-R と同じ記録容量を持っています。
DVD+R DL (Double Layer)	+RW アライアンスによって策定された、片面で2層の記録層を持った追記可能な1回記録型のメディアで、DVD+R の約2倍（8.5 GB）の記録容量を持っています。
DVD+RW	+RW アライアンスによって策定された、繰り返し記録再生ができるメディアで DVD-RW と同じ記録容量を持っていますが、互換性はありません。データを記録する場合は、フォーマット実行後データを記録します。
DVDビデオレコーディング規格	DVD 規格のひとつで、DVD のディスクにビデオデータを記録する方式のことです。 「VR 規格」や「VR フォーマット」とも呼ばれます。
High Speed CD-RW	4 倍速から10 倍速の書き込みに対応した、CD-RW のメディアです。書き込みには、High Speed CD-RW に対応したドライブが必要です。 のマークが表示されています。
Photo CD	米国の Eastman Kodak Company により研究開発された技術です。1枚の CD-ROM にたくさんのイメージ画像（写真など）が保存できます。

SmoothLink	松下電器産業株式会社で開発された「バッファアンダーランエラー（転送速度エラー）」を回避することができる技術です。
UDF フォーマット	Universal Disk Format の略で、パケットライティングや各種 DVD ディスク（DVD-RAM、DVD-Video、DVD-ROM、DVD-R、DVD-RW）に採用されているディスクフォーマットです。
Ultra Speed CD-RW	8 倍速から24 倍速の書き込みに対応した、CD-RW のメディアです。書き込みには、Ultra Speed CD-RW に対応したドライブが必要です。 COMPACT disc ReWritable Ultra Speed のマークが表示されています。
USB	Universal Serial Bus の略で、各種の周辺機器とパソコンを接続するための業界標準規格です。
USB2.0	USB2.0 は、USB-IF（USB Implementers Forum）によって制定された、USB1.0/1.1 上位互換の高速な USB インターフェースです。データ転送は最大で、USB1.1 の約40倍となります。
USB バスパワー	パソコンのUSB ポートから供給される電源を使用して、周辺機器を動作させる方式のことです。
-VR 規格、 -VR フォーマット	DVDフォーラムによって規格化された、ビデオレコーディング規格で、ビデオデータを記録し編集できます。単に -VR または V R とも呼ばれ、DVD-Video 形式や、+VR 形式とは互換性がありません。DVD-RAM や DVD-RW に使用します。
+VR 形式、 +VR フォーマット	+RW アライアンスによって策定された、ビデオレコーディング方式で、ビデオデータを記録し編集できます。単に+VRとも呼ばれ、DVD+RW メディアに使用しますが-VR とは互換性がありません。
インストール	一般に、デバイスドライバーなどのソフトウェアをパソコンのシステムに登録する作業をいいます。

オンザフライ方式	データをソースファイルから直接読み込んで、ディスク（メディア）に書き込む方式です。大きなイメージファイルを必要とせず、ハードディスクの空き容量が少なくて済みます。
再生可能地域コード（リージョンコード）	DVD ビデオは、再生できる地域が決められており地域ごとに管理されています。 日本の地域コードは「2」です。
ディスク アット ワンス（Disc at once）	CD 全体のデータをまとめて作成し、一度に書き込む方法です。追加書き込みはできません。
トラック アット ワンス（Track at once）	ひとつのトラックを、一度に書き込む方法です。 CD-EXTRA の作成などに利用されます。
バッファ アンダーラン または バッファ アンダーランエラー	ドライブのバッファーメモリー内のデータが書き込み中に、瞬間的に空になってしまい、書き込みが中断されてしまう現象で、書き込みエラーとなります。
物理フォーマット	ディスク定義情報や欠陥管理情報の記録を行い、セクター（ディスクでデータを管理する単位）レベルでのアクセスを可能にする動作のことです。
ホットプラグ	周辺機器をパソコンの電源が入った状態で抜き差しする操作をいいます。
マルチセッション（Multisession）	CD-ROM のフォーマットのひとつです。1枚の CD に複数のセッションが記録されているものです。 DVD+R でも採用され、この場合は追記が可能になります。
マルチボーダー（Multiborder)	DVD-R において、CD-R で採用されている「マルチセッション」と同等の機能を、「マルチボーダー」と呼び、DVD-R で追記を可能にする方式です。
論理フォーマット	初期化（イニシャライズ）とも呼びます。DVD-RAM ディスクがパソコンで記録・再生できるよう、システムの各種管理情報をディスクに記録することです。

さくいん

―アルファベット順―

―五十音順―

あ

か

さ

た

は

ま